



新しい年のスタートにあたり

玄関に飾られたおやじの会の方々による特製の門松が、新年のすがすがしさを改めて感じさせてくれています。そのような中、子どもたちの笑顔や歓声が、冬休みを終えて2週間ぶりに戻ってきました。いよいよ新しい年平成28年、そして3学期のスタートです。

さて、昨年に引き続き小郡地区の4小中学校では、「4校そろって一層信頼される学校へ」をスローガンに、小中学校の連携をさらに進めていくこととしています。これは、義務教育の9年間というスパンで、家庭や地域とともに協働して子どもたちを育てていこうという考えに基づいています。そのスローガンにある『信頼』ということについて、昨年度に引き続き、P-trustというアンケートを保護者の皆様にとらせていただきました。P-trustというのは、愛媛大学教育学部の露口教授が開発したもので、学校への「期待感」と「協力的態度」の2つの側面から、アンケート結果をデータ処理して、学校に対する信頼度の状況を分析するものです。信頼度は「関係的信頼係数」として表され、28ポイント以上が信頼される学校の目安とされています。先日、その分析結果が愛媛大学から届きましたので、その一部を紹介します。

小郡小学校の「関係的信頼係数」は、38.8ポイント(昨年より+1.7ポイント)で、目安となる28ポイントを上回る結果となりました。もちろん、これはあくまでも数値上のことですが、学校に対する保護者の皆様の期待を改めて感じ、より一層多くの方に信頼される学校づくりに向けて、さらに精進していかなければと気持ちを新たにしたところです。

項目ごとのより具体的な数値としては、本校の学校改善状況をお尋ねする「学校改善主要3項目」について、肯定率の全国基準値を100としたときに、

○『落ち着いた良い学校だと思う』が108(昨年より+2ポイント)

○『先生は、指導力が高いと思う』が、107(昨年より+4ポイント)

○『着実に改善が進んでいる』が、105(昨年より+3ポイント)で、いずれも基準値を上回るとともに、昨年度の主要3項目の値を上回る結果でした。

その他、特に肯定率が高かった項目としては、

○『PTA活動にはできるだけ参加したい』が150

○『PTA活動には積極的に協力している』が135という結果で、昨年度に引き続いてきわめて高い数値となりました。PTA活動を通して、子どもたちの学びや成長を支えていこうという保護者の方々の温かく実に前向きなお気持ちを感じることができ、本当にありがたく思っています。

また、学校理解のための情報を『ホームページから得ている』の肯定率が149と、昨年に比べて飛躍的にアップしていることも特徴として挙げられます。今年は、学校における子どもたちの様子をホームページで頻繁に発信しており、それを見ていただいていることをとても嬉しく感じています。

これらは、あくまでも分析結果の概要にすぎません。今後、詳細を考察して課題を明らかにし、小郡小の良さを大切にしながら地域とともに歩む学校、そして多くの方から信頼される学校に取り組む一年にしたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

コミュニティ・スクールニュース

＜老人保健施設みのり苑訪問＞

11月28日に吹奏楽部の子どもたちと6年生の有志がみのり苑を訪問して、入所者の皆さんに演奏と合唱を届けました。

入所者の皆さんが、子どもたちの心のこもった音楽をしっかりと受け取ってくださることを通して、参加した子どもたち一人ひとりが音楽の素晴らしさを学ぶことができる貴重な時間となりました。

現在、コミュニティ・スクールの推進を図っていくためのキーワードは、「学校支援と地域貢献」と言われています。

日頃から、保護者や地域の皆様に学校を支えていただくことが多い中で、これからは特に、地域貢献に力を入れて学校運営に取り組んでいきたいと思えます。



＜門松づくり＞

12月19日（土）に今年もおやじの会の方々が門松を作ってくださいました。

玄関前に飾られた門松は、見事な出来栄で、学校として新しい年を迎えるにあたっての準備とともに、その前を通過して登下校する子どもたちにとっても、日本の古きよき伝統に触れることのできる場となりました。



寒い中での活動でした



お知らせとお願い

児童の下校時刻をホームページでもお知らせいたします

これまで、児童の下校時刻については、プリントでお知らせしておりましたが、1月からは、学校のホームページでもお知らせいたしますので、ご活用ください。



<貼り付け先>

- 1 小郡小学校ホームページ
- ↓
- 2 LINK（教育関係）
- ↓
- 3 下校時刻



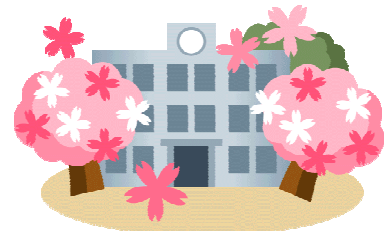
本年度2回目の学校評価を実施いたします

1 1月に本年度1回目の学校評価を実施いたしましたが、第2回目の学校評価を1月末に実施いたします。

今回も保護者用につきましては、家庭数によるマークシート形式で実施いたします。

お忙しい時期だとは思いますが、ご協力をお願いいたします。

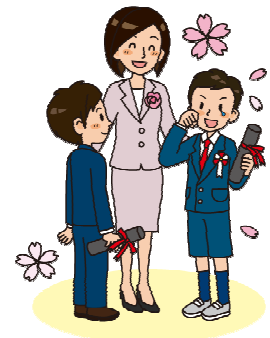
なお、いただいた資料は、1回目と2回目を比較分析して、さらに学校運営に役立てていきます。



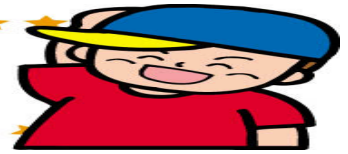
転出等の情報につきましては、早めに学校にお知らせください

年度末が近づき、本校におきましても3学期からは来年度の準備を始めることとなります。

つきましては、来年度の学級数の関係で、児童数の確認が必要となりますので、転出の可能性が生じた段階で学級担任までご連絡いただきますようお願いいたします。



人権教育講演会にご参加ください



1月15日(金)の参観授業終了後に、ランチルームで人権教育講演会が開催されます。本年度の講師は、「メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン」で福岡支部事務局長の「永井 啓子」様をお迎えして、「夢の力、命の輝き」という演題でご講演いただきます。保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

<メイク・ア・ウィッシュについて>

「メイク・ア・ウィッシュ」とは英語で「ねがいごとをする」という意味のボランティア団体です。3歳から18歳未満の難病とたたかっている子どもたちの夢をかなえ、生きる力や病氣と闘う勇気をもってもらいたいと願って設立されました。

<メイク・ア・ウィッシュのはじまり>

アリゾナに住む、クリスという7歳の男の子は警察官になるのが夢でした。しかし白血病にかかり、学校に行くこともできなくなりました。この少年の話を聞いたアリゾナ警察の警察官たちは、本物そっくりの制服とヘルメットとバッジを用意し、クリスを名誉警察官に任命することにしました。

小さな名誉警察官は規則に従って宣誓し、駐車違反の取締りもし、また、ヘリコプターに乗って空からの監視もさせてもらいました。ミニチュアバイクもプレゼントされクリスは大喜びでした。

5日後、クリスは亡くなりました。ほんの短い間でしたが、クリスの夢はかなったのです。

クリスの夢の実現にかかわった人々は、他にも大きな夢をもちながら、難病のため夢をかなえることができない子どもたちがいるに違いないと考え、メイク・ア・ウィッシュを設立しました。(メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンホームページより)



1月の行事予定

| | |
|---|------------------------------|
| 8日(金) 始業式 給食開始 | 16日(土) ニューイヤーズイベント |
| 12日(火) 集金日 身体測定(下学年) ベルマーク収集日 | 18日(月) 委員会活動 |
| 13日(水) 全校地区別下校 身体測定(上学年) | 19日(火) 読み聞かせ |
| 14日(木) 避難訓練 | 21日(木) にこにこタイム ブックトーク(3年) |
| 15日(金) 参観日(5校時) 人権教育講演会(14:45~15:45) | 25日(月) クラブ活動 |
| 読み聞かせ(6年) | 26日(火) 読み聞かせ(2年) |
| | 27日(水) 学友区児童会 地区別下校 |

